

2021年8月11日(水)

祈禱会の皆様、

おはようございます！（夜の祈禱会の皆様、こんばんは！）祈禱会の時間です！

【テーマ】「幻の報告」⑩4台の戦車

【聖書のみ言葉】ゼカリヤ6:1-8を読みましょう。

【訂正版：これまでのあらすじ】主はゼカリヤに「私に帰れ、私もあなたがたに帰る」と語りました(1:1-6)。そして、主に悔い改めるように勧めました(第一の幻 1:7-17)。なぜなら、主は、罪を必ず裁くが(第二の幻 1:18-21)、もし悔い改めるなら彼らを守り、あわれみによって祭司として再び選んでくださるからです(第三の幻 2:1-13)。そして、主は、神殿再建のために民を用いてくださり(第四の幻 3:1-10)、民は神の霊の力によってその働きを成し遂げる(第五の幻 4:1-14)。だからこそ、民は悔い改めに導かれていること(第六の幻 4:1-14)、主は、悔い改めない罪人だけでなく、罪のシステムも地から取り除くことも明らかにしました(第七の幻 5:5-11)。

【解説】

預言者ゼカリヤは第八の幻(最後の幻)を見ました。ゼカリヤが目を上げると、四代の戦車が二つの山の間から出てくるのを見ました。「四台の戦車」とは、主が、地に裁きをもたらす器として遣わされた御使いたちです(5)。「二つの山」とは、おそらくシオン山とオリーブ山であると考えられます。赤い馬、黒い馬、白い馬、斑毛の強い馬などの馬たちは、主の裁きの種類を表しているのでしょう。

その時、ゼカリヤと話していた御使いが、「北の地に出て行った馬たちは、北の地で神の霊を鎮めた」と言いました(8)。「北の地」とは、主に、バビロン帝国ですが、パレスチナを攻めるためにイスラエルの北から侵入してきた敵国のことも指しています。主の裁きがなされ、民を敵対する国に対する神の怒りは鎮められるのです。

第八の幻は、主が、全世界の歴史を支配している方であり、ご自身の民を苦しめるものを治めることを示しています。それは終末にも当てはまります(黙示録7:1)。

【適用】

私たちはこの世で様々な試練に会います。私たちが苦しむ時、それは神の霊を悲しませ、憤らせませ。神は私たちを苦しむままにはしておかれませ。私たちをいつも顧みてくださり、いつの日か救い出してくださいませ。ですから、その日まで、イエスにあって神を信頼して共に歩み続けましょう(ヘブル1:5-6)。

【祈り】 下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう(主に、週報から)。その他にも個人的な祈りの課題があれば、祈りましょう。

ありがとうございました！

また来週、配信致します。

百合丘キリスト教会

川井信雄

(「祈禱会の時間です！」の受信をご希望の教会員の方には転送して下さい。その他、通常祈禱会に来て下さっている方にもどうぞ。その際、次回直接メールできるように、私にもCCして頂ければ感謝です。)